

各関係機関長
各病害虫防除員 様

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成 1 7 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号について
平成 1 7 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号を発表したので送付します。

平成 1 7 年度病害虫発生予察特殊報第 2 号

- 1 病害虫名：ランツボミタマバエ (*Contarinia maculipennis* FELT)
- 2 発生物種：デンファレ (デンドロビウム・ファレノプシス系)
- 3 発生地域：宮崎県児湯郡

4 発生確認の経過

平成 1 8 年 1 月中旬、児湯郡の洋ラン栽培施設において、デンファレの蕾が加害される被害が報告された。加害された蕾からは、ウジ状の幼虫が多数発見された。沖縄県農業試験場害虫研究室 上地奈美特別研究員に同定を依頼したところ、県内で未発生のランツボミタマバエであることが確認された。

5 ランツボミタマバエの生態 形態

ハエ目：タマバエ科

終齢幼虫の体長は約 2mm (写真)、成虫の体長は約 1.5mm で蚊に似ている。

生態

成虫は夜行性であり、夕刻に羽化し地上近くで飛び交いながら交尾する。交尾を終えた雌がランの蕾に飛来し、半ば開いた花蕾の先にまとめて産卵する。

幼虫は、一つの蕾に数十頭寄生することがある。

終齢幼虫は、跳躍して蕾を脱出し、土中や鉢土の中で蛹化し、2 ~ 3 週間で羽化する。

ハワイでは、1 年中発生が見られ、1 ヶ月以内で世代を繰り返している。

寄主範囲

ハワイでは、ラン (デンファレ) 以外にもハイビスカス、ニガウリ、パクチョイ、トマト、ナス、ジャガイモ、ピーマン、ジャスミンなどの蕾を加害することが確認されており、広食性である。

分布

最初に加害が報告されたのは、ハワイのハイビスカスからであるが、もともとは東南アジアに分布していたものとされている。近年、タイから米国フロリダ州に侵入し施設栽培ランを加害している。また、オランダでの検疫でもタイ産ランの花蕾から捕獲されている。国内では、1 9 8 9 年に沖縄県名護市のデンファレ栽培施設で、1 8 年 2 月に福岡県のデンファレで発生が確認されている。

国内での生態については不明な点が多い。

被害

本種に加害された蕾はゴール化して落蕾や奇形花を引き起こし (写真)、開花前に落下するか、開花しても花びらに傷がつくため (写真) 商品価値がなくなる。

6 防除対策

- 1) 本種は広食性の害虫なので施設外への脱出に注意するとともに、施設内の防除の徹底を図る。
- 2) 発生している地域からの苗の導入にあたっては十分注意し、できるだけ本種に寄生されていないことを確認する。
- 3) 本種が発生しているラン栽培施設では、植物体上の被害蕾や地上に落下した蕾を速やかに

- 除去して幼虫の拡散を防ぐ。また、つみ取った被害蕾は袋などに密閉して適切に処分する。
- 4) 棚下の地表部等にマルチを張り、蛹化場所を被覆する。
 - 5) 疑わしい被害が確認された場合、速やかに最寄りの農業改良普及センター、総合農業試験場、もしくは病害虫防除・肥料検査センターに連絡する。

7 参考資料

湯川ら(2004)植物防疫. 58(5): 24-26

『最近、沖縄に侵入したランツボミタマバエとマンゴーハフクレタマバエ』

沖縄県植物防疫協会(2001)

『農作物病害虫診断ハンドブック』: 292



【写真】



【写真】



【写真】

写真 : ランツボミタマバエの幼虫

写真 : 加害による奇形蕾

写真 : 加害による奇形花

(写真、児湯農業改良普及センター提供)

(写真 沖縄県農業試験場上地氏提供)

《連絡先》

病害虫防除・肥料検査センター 興梠

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-7499

ホームページ : <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>

E-mail : byougaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp